

# 諫早市ボラ連だより

## ◆会長挨拶

諫早市ボランティア連絡協議会 会長 中島 ふさ



このたび 諫早市ボラ連会長に選任されました中島ふさと申します。「オカリナ“桜づつみ”」と「諫早エコライフの会」に所属しております。

当ボラ連は 平成25年に33団体でスタートして13年目になりますが、今では57団体が加入され 組織も大きくなって 活動内容も充実して参りました。

ボラ連は、諫早市におけるボランティア活動をより円滑に推進するために、①会員相互の連携・交流と ②市民のボランティア精神の高揚並びに参加促進を目的としています。戦後 80 年の節目の年、定年延長などにより、ボランティア活動のあり方も変化してきています。事務局の力を借りながら、役員一丸となって、全員参加のボラ連運営に邁進してまいりたいと思います。皆さまよろしくお願いたします。

## ◆令和7年度通常総会が終わりました

副会長 平山 仁

6月14日(土)、今年度の通常総会を諫早市社会福祉会館多目的ホールにおいて開催いたしました。総会には 54 団体が出席。諫早市長様、市議会議長、社会福祉協議会長様のご出席をいただき、2024 年度の事業報告及び決算・監査報告の承認、2025 年度の事業計画案・予算案の提案が全て承認されました。今年度は、理事の交代時期でもあり、以下の理事が選任され、理事の互選により役員が決まり、総会出席者に報告されました。総会後の研修会では、平山百合子さんのリードで自己紹介カードを使った会員・所属団体の相互理解を深める交流の活動が行われました。

諫早市ボランティア連絡協議会 総会



ボランティア連絡協議会



左) 諫早市長代理祝辞  
中) 議長:友永泰輔さん  
右) 司会:平山百合子さん

## 【新役員紹介】

8名 (R7~8年度)

- 会長:中島 ふさ (諫早オカリナ“桜づつみ“)
- 副会長:小柳 敏哉 (諫早地区保護司会)
- 副会長:平山 仁 (諫早レクリエーション研究会)
- 理事:近藤久美子 (諫早エコライフの会)
- 理事:菅 達也 (鎮西学院大学)
- 理事:苑田アツ子 (点訳友の会「ムツゴロ」)
- 理事:野田 都 (諫早こどもみらい応援団)
- 理事:松本 佳子 (諫早レクリエーション研究会)
- \*\*\*\*\*
- 監事:松原日出子 (子育て支援サポーター野と花)
- 監事:峯友 清博 (グループ「めだか」)



前)列 近藤・中島・平山・苑田 後)列 小柳・菅・野田・松本

## 【事業計画】 ～ボラフェスとパネル展をメインにした計画が決定～

### 1.会の運営

- ①総会の開催(年1回)
- ②理事会の開催(随時)
- ③会計監査(年1回)

### 2.事業の内容

- (1)会員の加入促進
- (2)ボランティアフェスティバルの開催
- (3)パネル展
- (4)会員研修
- (5)役員研修会
- (6)広報紙の発行
- (7)ガイドブック(ホームページ)の見直し

### 3. 関係機関・団体との連携強化

<お知らせ>理事は、今年度から、会員数増により8名になりました。「任期2年、通算4年迄、代表以外でも誰でもなれる」は変更ありません。

総会後の会員研修会  
楽しく終了!!



～あなたの団体どんなことをやっておられますか？相互理解と交流を深めよう～



## 嬉しい受賞の報告もありました

「受賞しました」「おめでとうございます」



左)文部科学大臣表彰を受賞した諫早コスモス音声訳の会  
中)出口ボランティア表彰 奨励賞を受賞した子育て支援サポーター野と花  
右)諫早市社会福祉協議会表彰を受賞した諫早エコライフの会

## ❖ボラフェス実行委員会がスタートしました



令和8年1月25日開催のボランティアフェスティバル(略称 ボラフェス)に向けて実行委員に3名の応募がありました。担当理事を含めて6名で実行委員会を編成し、話し合いがスタートしました。皆さんに喜んでいただけるボラフェスになるよう検討していきます。

## ◆ボラ連「役員研修会」の開催！ ～オンライン受講～

令和7年9月24日 社会福祉会館において、「広がれボランティアの輪連絡会議」（会長：上野谷佳子 同志社大学学長）が主催する「ボランティア全国フォーラム 2025」シンポジウムにオンライン参加しました。

役員受講者の感想に、「とても内容が深く、役員だけより会員研修として全員が受講すると学びとるものが大きかったのではないか」との意見がありましたので 詳細を記載しました😊

◆「ボランティアの課題とこれから～「広がれ」の提言を通して考える～」をテーマとして、シンポジスト7人による対談。

◆テーマの趣旨は「現在のボランティア活動は、目的・内容・担い手・組織運営などさまざまな形で展開されて、行政や地域とのつながり・メンバーなども多様なため、シンポジストの提言を読み解いて、ボランティアの課題を明確にし、今後の活動の方向性について考える機会とする。」ものでした。

◆ボランティア活動の核となる大切なこととして、「主体性」「対等性」「無償性」が挙げられ、この3つの核について、ボランティア・市民活動の実践者の立場からどのように考えるかを意見交換されました。

◆「主体性」については、「スタート時点で主体的とは言えなくても、活動する中で「主体性を育む」ことが大切」との意見や、「主体形成は、ボランティア活動の中でつくられていくもので、『私』という意思があるかを大切にすべき。」との意見が出されました。

◆上野谷会長より、「現時点で一番大事といわれる「対等性」については、「災害時の支援活動は行政が責任主体となる場面が多く、平時の活動と災害時を同等に議論することは難しいのでは」との指摘もありました。

◆「対等性」については、行政とボランティアとの関係の他に、ボランティアと利用者間、ボランティア同士の対等性も課題としてある。全国で利用されているポイント制については、支援する側と受ける側の対等性をどう実現するかという投げかけもありました。

◆これは「無償性」の議論にもつながり、ボランティア活動は無償性を原則としていますが、有償の活動をすべて否定するというのではなく、「コミュニティサービス」※という考え方を広げていく必要があるのではないか、ということも提案されました。

金銭を介在させるのであれば、活動者に還元するのではなく、ボラ組織の運営や活動者の養成といった経費に充当することが妥当ではないか、という意見も出されました。

◆人口減少が続くわが国において、ボランティア活動者をどう増やしていくかも話題となりました。物価が高騰し、定年後も働く人が増えたり、学生貧困が課題となる中、社会貢献に関心が高い企業をいかに巻き込んでいくか、学生がボランティア活動できる環境をどう支援していくか、といった課題提起もなされました。

◆ボランティアは、利用者と同じ立場、目線にあるという「市民性」が重要である、企業の専門性に対して、アマチュアリズムを大事にしていくことが必要ではないか、との意見も出されました。

◆最後に、ボランティア活動が歩んできた30年を振り返り、関係者が「協働」するだけでなく、これからは、ともにつくっていく「共創」が重要となるとの指摘もあり、午前の全体会が終わりました。

※コミュニティサービスは、地域社会の構成員としての義務であり、地域をよくするために地域の中で役割を果たすこと。

## ❖「パネル展 in 諫早図書館」終わりました!! 担当理事 松本佳子・野田 都

▶ ボラ連加盟57団体の活動を広く知っていただくとともに、加入促進やボラ連加盟団体間の協働を目的とした「パネル展」を諫早図書館において開催しました。会員や友人知人に広く周知をお願いし、図書館来場者など、多くの方々にご覧いただきました。

▶会場には有人の受付は配置せず、来場者は 来場者シールを貼るようにご協力いただき、69 枚のシールがありました。

▶アンケートは 14 名が回答、うち初参加5名、ボランティアをしている方 10 名。



▶「多岐にわたるボラの内容がわかった」「未来ある子ども達や障害をお持ちの方、高齢者への支援が素晴らしい」「すっきりして押しつけ感がなくて良い」「いいなーと思うボランティアがあった」などのご意見をいただきました。また「ボラ活動は自発的で、自己啓発の活動ゆえ、強制したり求めたりするものでもない」等私たちが大事にしなければいけない基本理念を書いて下さった方もありました。設営、片付けに皆さんのご協力ありがとうございました。

◆開催期間 令和7年10月2日(木)13時～10月7日(火)15時 5日間(10/6 休館日除)

◆会 場 諫早図書館 展示スペース

## ❖ボラ連加入へのお誘い

～ボラ連って何をするの？ メリットは何？～ 諫早のボランティア活動を円滑に推進するために会員相互の連携・交流を図るところです。そして市民のボランティア活動精神を高め、参加促進を図ることを目的としています。会費は、1団体 年 1,000円です。

ボランティアの絆をつなぎ続けましょう。(加入申込みは、ボラ連事務局 ☎24-5100)

## ❖会員のみなさまへ ～ご協力のお願い～

ボランティア連絡協議会の活動をよりよいものにしていくため、日頃よりさまざまなご協力をありがとうございます。あらためて、以下の点についてご理解とご協力をお願いいたします。

1. 意向調査やアンケートなどの提出物につきましては、必ずご提出いただき、期限内のご協力をお願いいたします。
2. 代表者会議には、できるだけご出席いただき、会議内容を団体内で共有していただけると幸いです。(代表者の出席が難しい場合は、代理の方のご出席も可能です。)
3. ボラ連主催の「ボランティアフェスティバル」と「パネル展」につきましては、交流と発信の大切な機会として、できる形でご参加いただければと考えています。
4. 「ボラ連だより」やチラシ等の配布物は、団体内で共有していただき、活動の周知にご協力ください。

ボラ連加入団体や過去のボラ連だよりはこちら→



【編集後記】▼9月になっても、30℃超えの猛暑が続きました。▼今年は被爆80年の節目の年、平和記念式典では、「長崎を最後の被爆地に！」と、被爆クスノキを題材にした福山雅治さんの「クスノキ」が子どもたちによって世界に向けて謳われました。▼折しも 全国国民文化祭・障害者芸術・文化祭「長崎ピース文化祭 2025」が長崎県内で開催。▼諫早市は 平成17年3月、合併によって新「諫早市」が誕生してから20年になります。▼諫早市ボラ連も、活動が定着した 優しい街になるように頑張りたいと思います。(編集 中島ふさ)